

平成25年度

北星小学校だより



輝け北の星たち 3月号

平成26年3月17日(月)発行

全員でありがとう！ 卒業の6年生に送る

2月28日(金)、「6年生を送る会」が行われました。開会式後、2・3年生と6年生の「ジェスチャーゲーム」で楽しく始まりました。

2番手は1年生の「ドキドキレース」で、次に4年生と「じゃんけんサッカー」、5年生とは「借り人ゲーム」を一緒に楽しみました。



【全員で踊る「恋するフォーチュンクッキー」】

その後、縦割り班で作成した在校生のプレゼント渡しをして、最後に6年生からのすばらしい合奏と班員一人一人にメッセージカードの贈り物がありました。

5年生は、この日までの準備や当日の司会進行などで頑張ってくれました。大変だったでしょうが、立派にやり遂げてくれました。本当に、ご苦労様でした。

今年の先生 【「じゃんけんサッカー」を楽しむ4・6年生】

方のおし物は、小学校入学からの6年間を振り返るスライドショーを写し出し、次に全員で「恋するフォーチュンクッキー」の曲にのり、ダンスをしました。皆さんノリノリで踊っていました。



【6年生の息のあったすばらしい合奏】

※2月下旬から3月中旬まで

〈キャップ、インクカートリッジ、切手〉 松本明日風(3年)

〈キャップ、プルタブ、ベルマーク〉 濱岸 由実(6年)

〈キャップ、プルタブ〉 濱岸 翼(4年)、川口 真愛(2年)、平田さん(三室町)
堂谷内沙織(4年)・佑大(2年)・啓大(1年)
北橋 大輔(6年)

〈ベルマーク〉 平野 樹里(1年)

〈キャップ〉 山崎 愛永(4年)・凜太郎(3年)、安田 哲弘さん(三室町)

いつも、ご協力ありがとうございます。

大きくなって帰ってきてよ！！

3月11日(火)、サケの稚魚300匹を放流しました。玄関前に全員で「約束」を歌い、その後一人一人が容器に稚魚を入れ、学校前の崎山川に放流しました。

昨年の12月18日に県水産総合センター美川事務所から発眼卵をいただき、約3ヶ月間世話をした稚魚を放流するのは、少しさびしい様子でした。



〔崎山川に、さけの稚魚を放流する2・3・4年生〕

再編及び閉校に向けて準備中

すでに新聞に掲載されたように、東湊小との再編に向けて、これまで市再編委員会が、1月10日と2月25日の2回実施されました。また、閉校に向けて本校独自の第1回閉校実行委員会を3月14日(金)に開催しました。今後、いろいろな意味で皆様にご協力をお願いすると思えます。なにとぞよろしくお願ひします。

2014年(平成26年)2月21日(金曜日) 北 國 新 聞

北星小 来年3月に閉校

七尾市教委は20日までに、北星小を来年3月末で閉校し、東湊小と再編する方針を固めた。市東部にある北星小は児童数の減少が進んでおり、PTAや地域が主体となって再編計画を進め、複式学級を解消する。新年度は両校の交流事業を行い、再編が円滑に進むようにする。

市は当初予算案に両校の交流事業関連費約400万円を計上する。

北星小は1982(昭和57)年、周辺の4小学校を統合して創立された。鶴浦や三室、湯川など崎山地区と北大呑地区の一部地域が校区となっている。今年度の全校児童は47人で、2004年度の99人から半分以下になった。減少により昨年度から複式学級を取り入れ、今年度は2・3年が複式学級となっている。新年度は2・3年と4・5年が複式となる見込み。

再編については、北星小のPTAが将来の児童の教育環境を見据えて、昨年1月に保護者へアンケートを実施したところ、複式学級の解消や早期の再編を

七尾市教委 東湊小と再編

予算案に児童交流費計上

求める声が多かった。昨夏には校区の町会もアンケートを実施し、交流事業で再編を円滑に進めるよう望む声が上がった。

両校のPTAや町会、学校関係者、市教委でつくる再編委員会が20日までに設立された。委員会は今後、北星小から約9人離れた東湊小へ通学するため、スクールバス運行などを協議する。

市教委は新年度、両校の交流事業として合同授業や共同行事などを行う。また北星小に児童交流支援員1人を配置する計画である。

来年度末で閉校となる北星小
—七尾市鶴浦町

Let's call. オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)

相談内容: 悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

